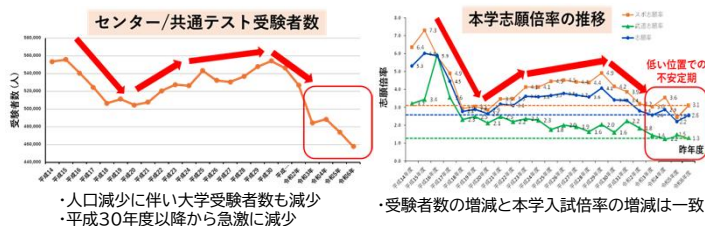




プロジェクト名：入試広報推進事業

鹿屋体育大学を取り巻く現状と課題

大学受験者数の減少と本学志願倍率の減少の関係



今後の確定的見通し

人口の更なる減少(受験者数減少)、運動部活動加盟者数の減少、スポーツ科学部など私立大学など競合校の増加、倍率低下に伴う入学者の学力低下

選ばれる大学になるために、
未来の受験者に対するこれまで以上の積極的な広報が必要

事業の全体計画

一般選抜志願者獲得に向けて
「つなげる広報」「持続させる広報(数十年先を見据えた広報)」「拡げる広報」「新たにつなげる広報」「入学意欲を高める広報」の
5つの観点に沿って入試広報活動を実施

主な取り組み

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| ①進学説明会への参加 | ⑩非志望者へのメッセージ配信 |
| ②SNSの運用 | ⑪高校の授業で活用できる大学情報サイトの掲載 |
| ③広告の掲載 | ⑫スーパーサイエンスハイスクール(SSH)生徒への広報 |
| ④高等学校への訪問活動 | ⑬オープンキャンパス(学内)の開催 |
| ⑤課外活動団体紹介リーフレットの更新 | ⑭出張オープンキャンパスの開催 |
| ⑥保護者向けリーフレットの作成 | ⑮オンライン進学相談の実施 |
| ⑦新しい入試制度紹介ポスター・チラシの作成 | ⑯大学入試学会への参加・研究発表 |
| ⑧現地広報スタッフ制度の整備・試行・検証 | ⑰人員の雇用(入試広報分析、活動の検証) |
| ⑨研究・講義のプロモーション動画の制作 | |

具体的な取り組み例とその成果

〇つなげる広報

- ・在学生による母校訪問: **各部活用リーフレット**の作成・配布依頼
- ・過去の入学実績分析・訪問: 本学教職員による**直接訪問**

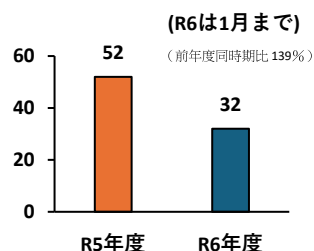


課外活動団体紹介リーフレット(13団体作成)

印刷数と配布数

部活動	印刷部数	配布数
陸上競技部	700部	260部
硬式野球部	700部	539部
テニス部	500部	188部
水泳部	500部	202部
ダンス部	450部	400部
柔道部	600部	200部
女子バスケ部	500部	468部
男子バスケ部	500部	200部
男女バレー部	500部	148部
剣道部	750部	350部
合計	5750部	2955部

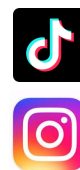
直接訪問高校数



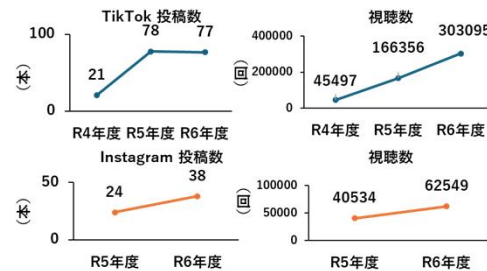
鹿屋体育大学の過去と現在、未来の人的ネットワークをつなぐ

〇持続させる広報(未来への広報)

- ・高校生に届く媒体で若者目線(現役大学生による広報)



＊施設紹介、学生インタビュー、卒業生インタビューなど
⇒本学のモノを伝える、ヒトを伝える、ミライを伝える。

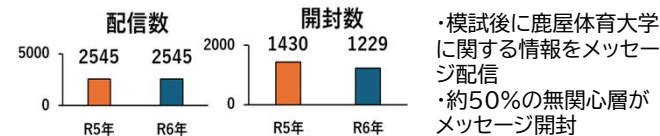


〇新たにつなげる広報

- ・鹿屋体育大学に**無関心層**、でも**スポーツ科学に興味ある学生**とつながる

	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤
志望学部	スポーツ科学部	体育学部	スポーツ健康科学部	スポーツ科学部	スポーツ科学部	体育学部	体育学部
エリア	九州金7県	関東金7都県	東海金4県	関西金6府県			
判定	1位～4位	判定による取り込みなし					
人数	469人	2,637人	749人	650人	731人	499人	823人
合計	5,365人 ※重複者除く						

体育系学部・学科を志望しているが、鹿屋体育大学が候補に入っていない学生数(抜粋)



高1・2年とつながる



マナビジョンSchool Program

全高校の81%が利用

高校1・2年の本学オープンキャンパス参加者数



〇拡げる広報

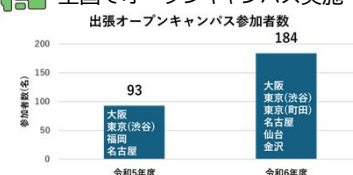
- ・スポーツ科学に**無関心層**、でも**関連領域に興味ある学生**とつながる

〇〇学×スポーツというユニークな授業を高校生に配信

R6年度実績
動画アクセス数: 5,500回
プリント配布数: 6,618件

〇入学意欲を高める広報

全国でオープンキャンパス実施



〇事業成果

現地オープンキャンパス参加人数

